

新電元工業株式会社 2017年3月期 決算説明会

2017年5月19日（金）

決算説明

連結業績

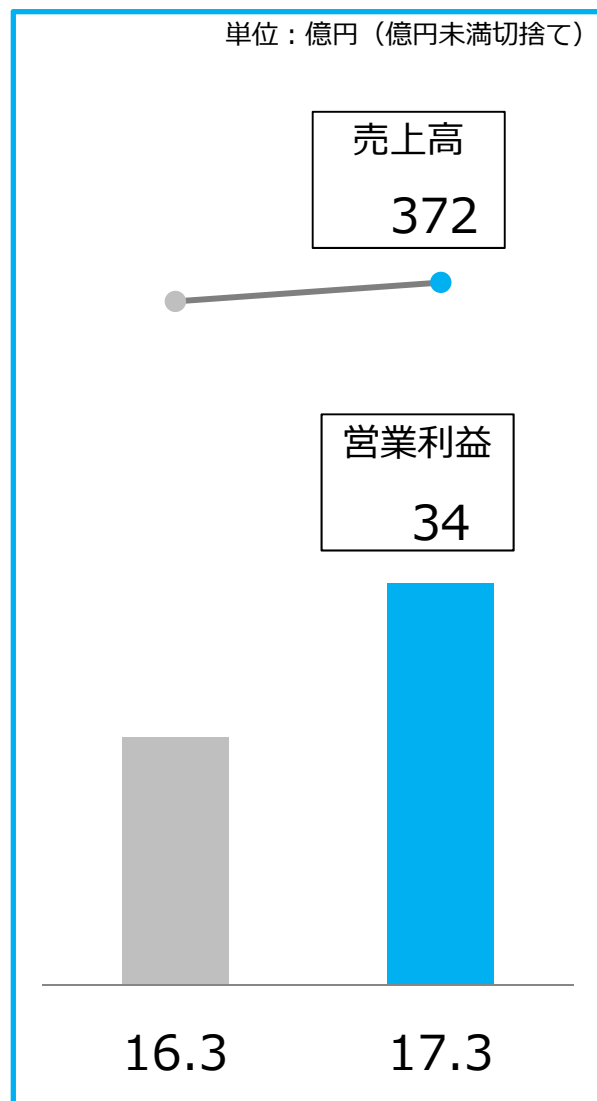
単位：億円（億円未満切捨て）

	2016年3月期（実績）	2017年3月期（実績）	増減率
売上高	9 8 1	9 2 6	▲5.5%
営業利益	7	5 2	555.2%
経常利益	4	4 7	1,069.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2	3 5	1,611.6%
営業利益率	0.8%	5.7%	
R O E	0.4%	6.7%	
設備投資	6 6	4 1	▲38.3%
減価償却費	5 0	4 8	▲4.5%
研究開発費	4 9	5 0	1.1%
平均為替レート(\$)	¥ 120.47	¥ 108.28	
期末為替レート(\$)	¥ 120.54	¥ 116.53	

- ◆ モビリティ分野は底堅く推移も、新エネルギー分野は低迷続く
- ◆ 各段階損益、製品保証引当金を計上した前期から増益

連結業績（セグメント別）

デバイス事業



【2017年3月期実績】

売上高 372 億円(前期比2.6%増)

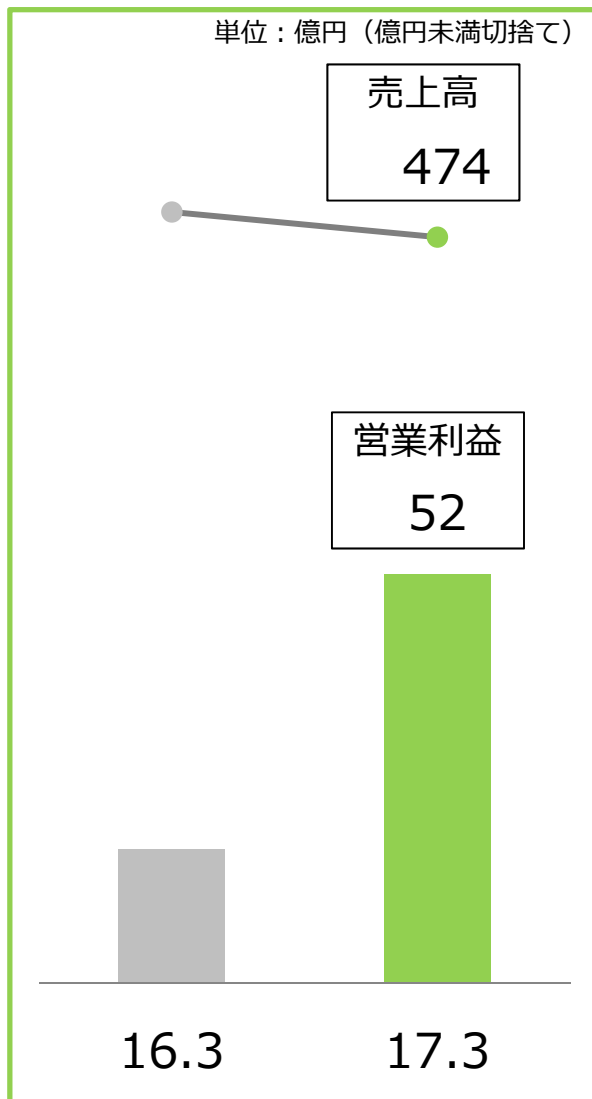
営業利益 34 億円(前期比64.8%増)

topics

- ✓ 空調機器関連、前期の低迷から回復
- ✓ 車載向け、産業機器向け堅調
- ✓ 増収効果、経費抑制や生産性改善により増益

連結業績（セグメント別）

電装事業



【2017年3月期実績】

売上高 474 億円(前期比3.3%減)

営業利益 52 億円(前期比192.1%増)

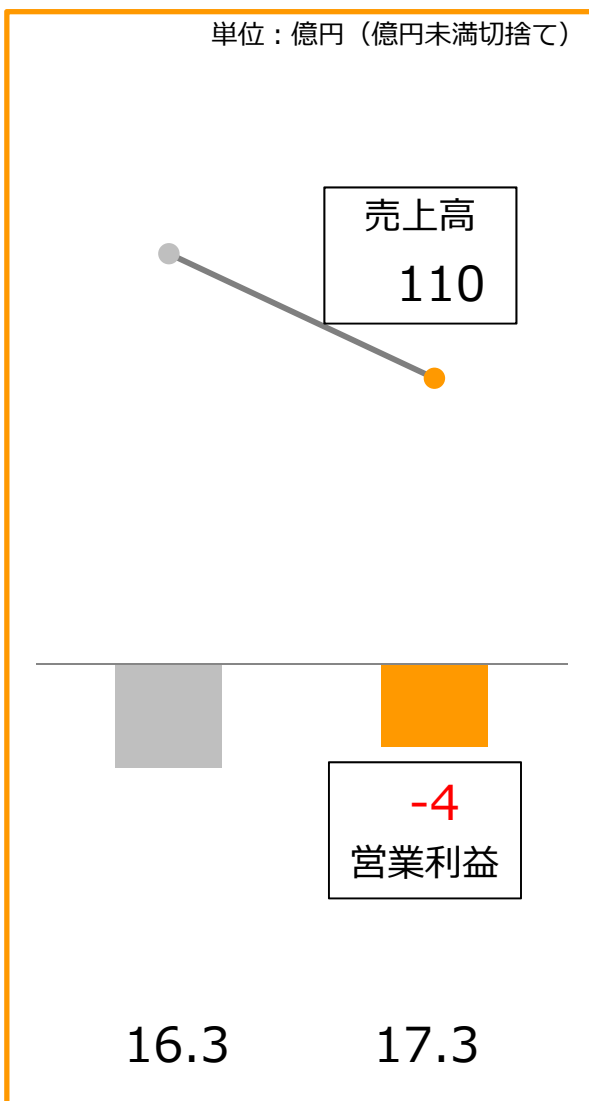
topics

- ✓ 二輪車市場、ベトナム好調維持、インドネシア市場低迷のなか、ECU堅調で前期並み
- ✓ アジア通貨安の影響などにより、減収
- ✓ 製品保証引当金を計上した前期比では増益

連結業績（セグメント別）

新エネルギー事業

単位：億円（億円未満切捨て）



【2017年3月期実績】

売上高 110 億円(前期比30.0%減)

営業損益 4 億円損失(前期 5 億円の損失)

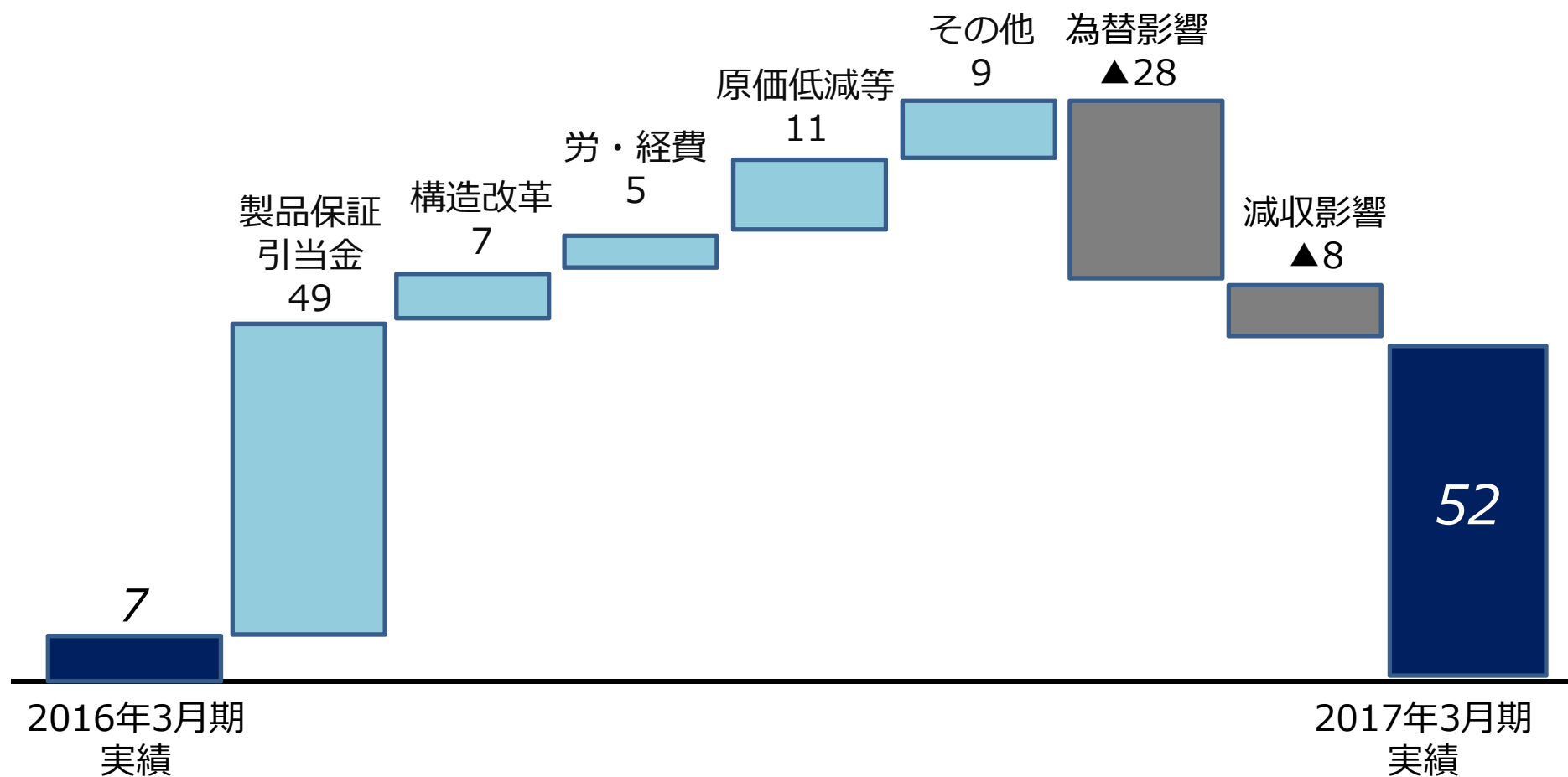
topics

- ✓ 新エネ分野
太陽光発電低迷、O & M事業[※]等の新しい取り組み推進
- ✓ 通信分野
H V D C (高電圧直流給電) の導入が進み前期並み
- ✓ 構造改革効果等により損益改善

※オペレーション&メンテナンス事業

営業利益の増減（前期比）

単位：億円（億円未満切捨て）



連結貸借対照表

単位：億円（億円未満切捨て）

	2016年3月期	2017年3月期	増減	増減率
流動資産	8 5 1	8 1 1	▲ 3 9	▲4.6%
固定資産	4 7 9	4 7 3	▲ 6	▲1.3%
資産合計	1, 3 3 1	1, 2 8 5	▲ 4 5	▲3.4%
流動負債	3 3 8	2 8 1	▲ 5 7	▲16.8%
固定負債	4 8 4	4 6 3	▲ 2 1	▲4.4%
負債合計	8 2 3	7 4 5	▲ 7 8	▲9.5%
株主資本	5 2 3	5 4 5	2 2	4.2%
その他の包括利益累計額	▲ 1 6	▲ 5	1 0	—
純資産 合計	5 0 7	5 4 0	3 2	6.4%
総資産	1, 3 3 1	1, 2 8 5	▲ 4 5	▲3.4%
自己資本比率	3 8. 1 %	4 2. 0 %		

2018年3月期決算（連結業績見通し）

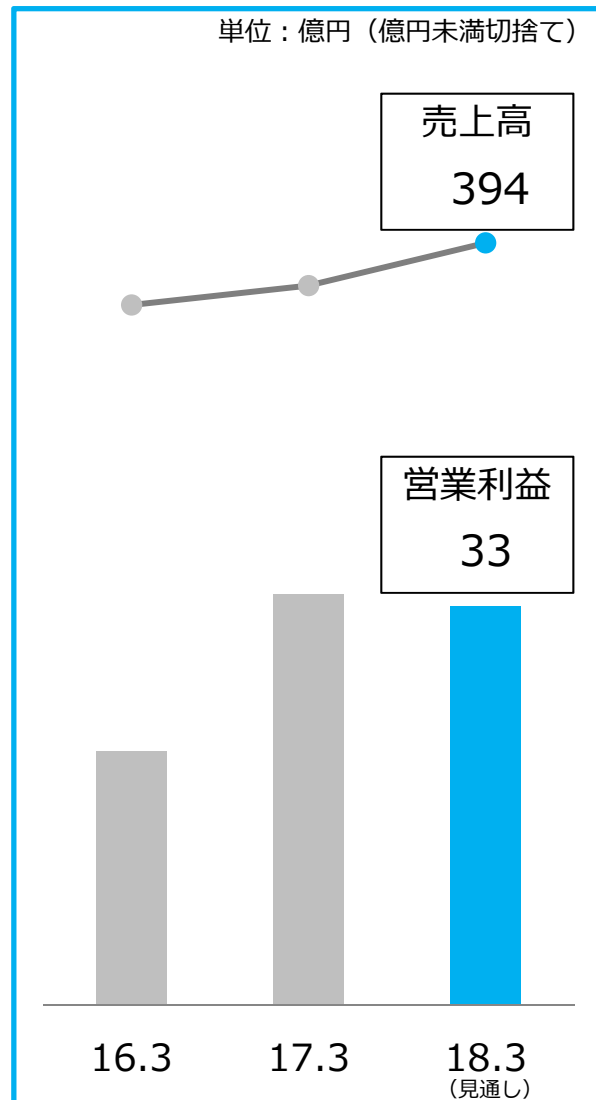
単位：億円（億円未満切捨て）

	2017年3月期 実績	2018年3月期 見通し			増減率
		上期	下期	通期	
売上高	9 2 6	4 2 6	4 6 9	8 9 5	▲3.4%
営業利益	5 2	8	2 4	3 2	▲38.9%
経常利益	4 7	1 1	2 4	3 5	▲26.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3 5	8	1 8	2 6	▲25.9%
営業利益率	5.7%			3.6%	
R O E	6.7%			4.7%	
設備投資	4 1			8 3	101.4%
減価償却費	4 8			5 5	13.6%
研究開発費	5 0			5 7	13.0%
平均為替レート(\$)	¥ 108.28			¥ 106.00	
期末為替レート(\$)	¥ 116.53			¥ 106.00	

- ◆ 市場環境、産業機器やモビリティ関連は底堅く推移
- ◆ 想定為替レートを円高で設定、減収見込む
- ◆ 設備投資や研究開発など成長投資、円高影響により減益

連結業績見通し（セグメント別）

デバイス事業



【2018年3月期見通し】

売上高 394 億円(前期比5.8%増)

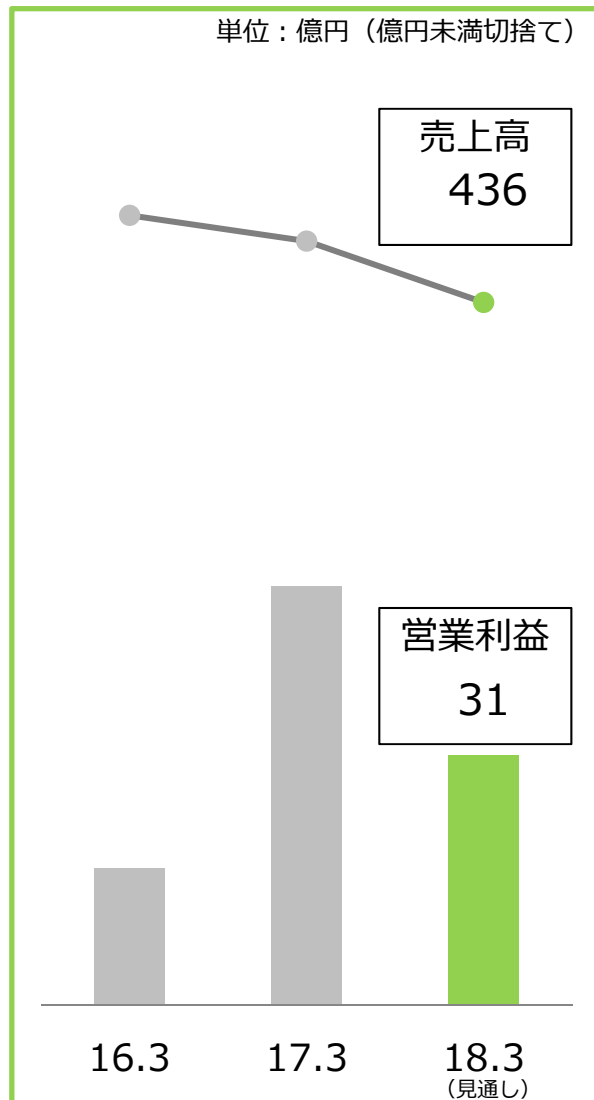
営業利益 33 億円(前期比5.1%減)

topics

- ✓ 車載・産業機器向けは堅調
- ✓ パワーモジュールの設備投資増加などにより減益

連結業績見通し（セグメント別）

電装事業



【2018年3月期見通し】

売上高 436 億円(前期比8.1%減)

営業利益 31 億円(前期比40.6%減)

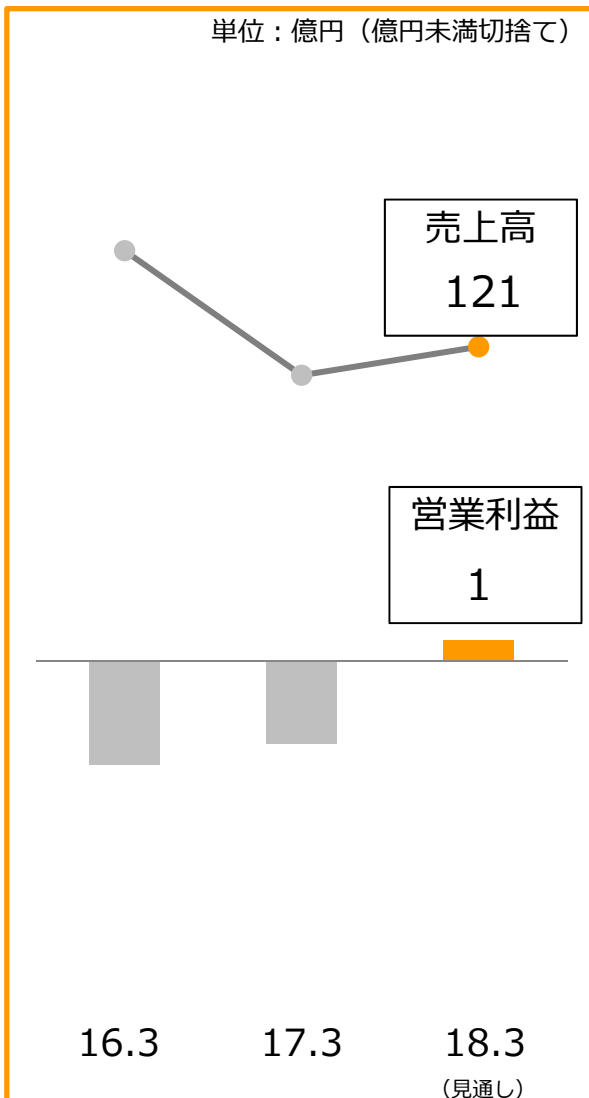
topics

- ✓ インドとベトナムの二輪車市場では、成長見込むが円高により減収予想
- ✓ 減収や研究開発投資の増加等により、減益見通し

連結業績見通し（セグメント別）

新エネルギー事業

単位：億円（億円未満切捨て）



【2018年3月期見通し】

売上高 121億円(前期比9.1%増)

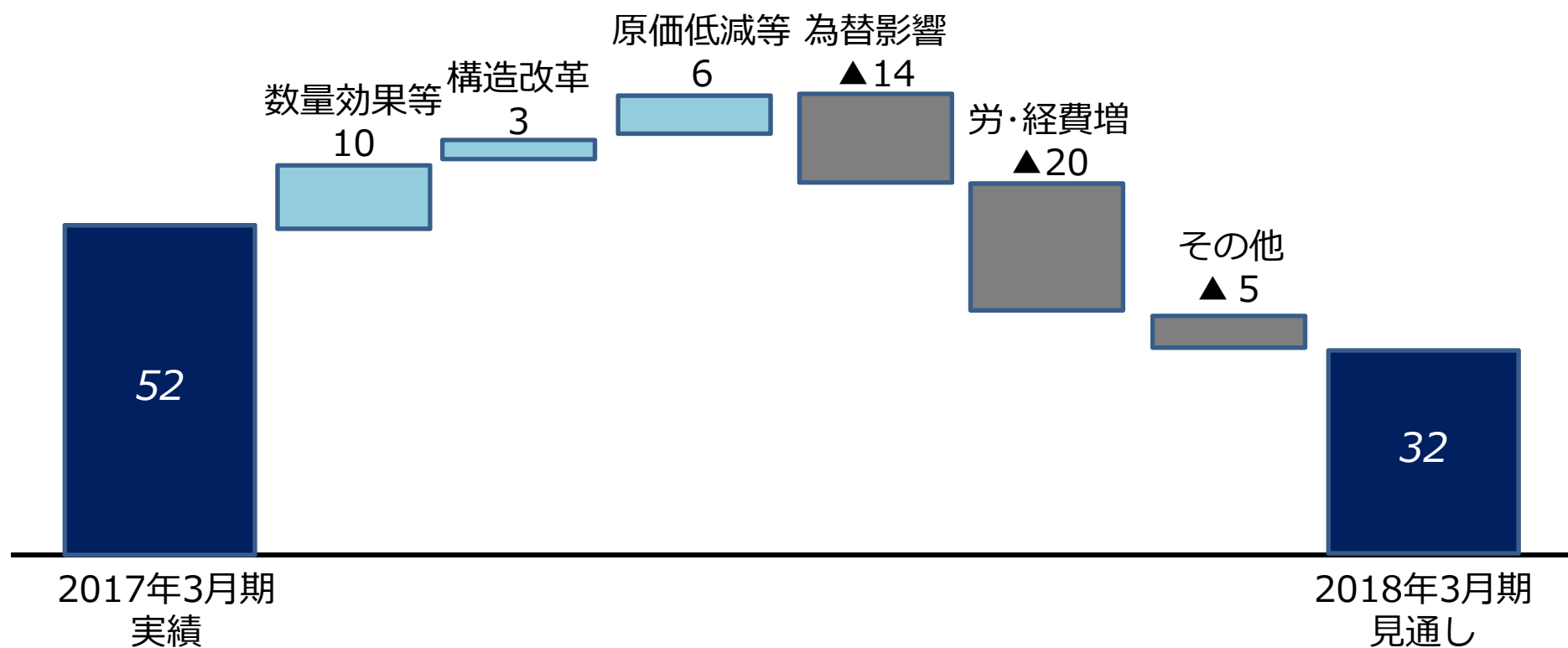
営業利益 1億円(前期4億円の損失)

topics

- ✓ 太陽光発電市場
製品ラインアップ強化とO & M事業拡大
- ✓ 通信分野
競争環境激化も前期並みの水準狙う
- ✓ 増収や構造改革推進により、黒字回復見込む

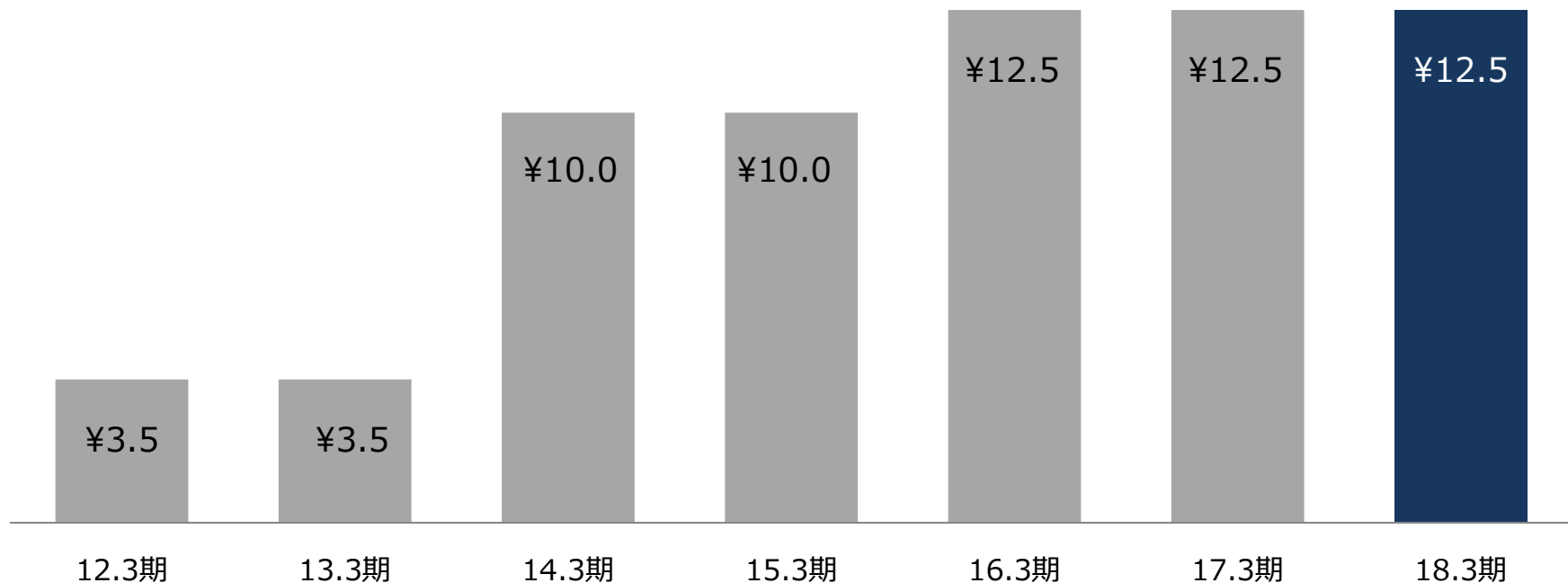
営業利益の増減（前期比）

単位：億円（億円未満切捨て）



株主還元

2018年3月期 期末配当金 12.50円を予定※



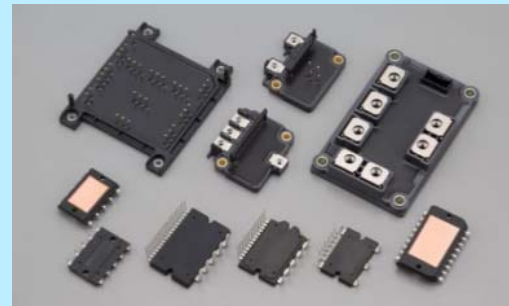
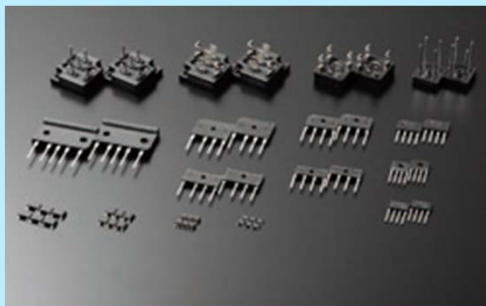
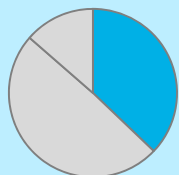
E P S 配当性向	12.3期	13.3期	14.3期	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期
	13.73	38.06	117.71	50.98	1.99	34.07	25.24 [※]
	25.5%	9.2%	8.5%	19.6%	628.1%	36.7%	49.5%

※ 1株当たり配当金およびEPSは株式併合の影響を考慮しておりません。

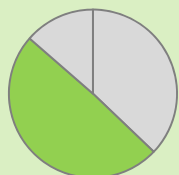
2018年3月期の取り組み

事業ポートフォリオ

デバイス 事業



電装 事業



新エネルギー 事業



アライアンスの推進

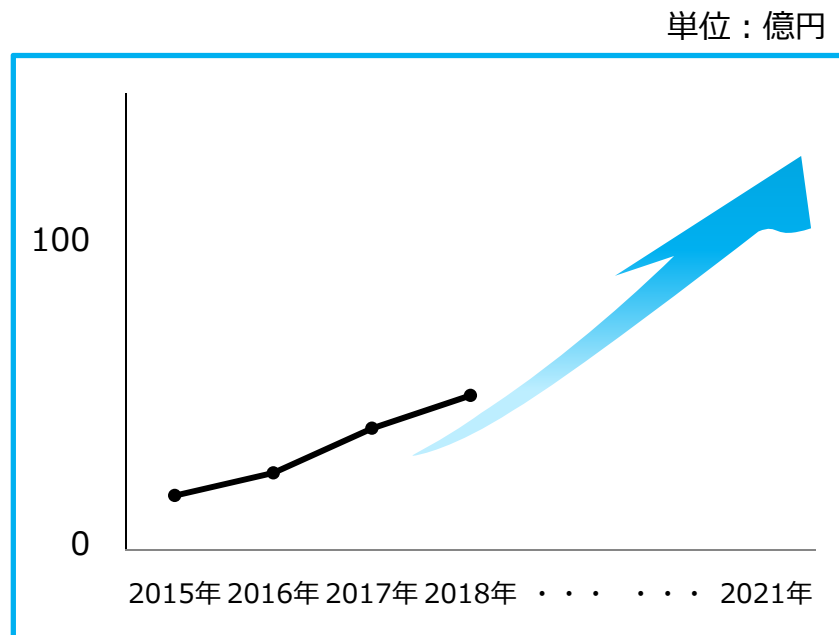
- ✓ 部品からシステムへ
- ✓ 新しい領域へ

EV関連事業の強化

- ✓ 2020年以降に向けて
- ✓ 車載、インフラの両面をターゲット

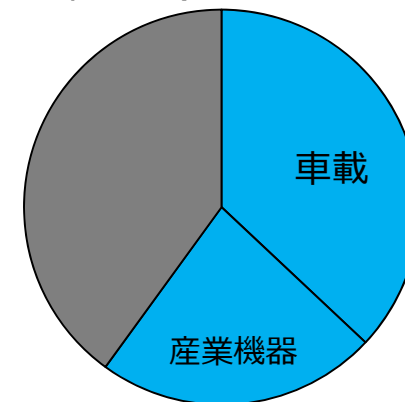
パワーモジュールの拡大

✓ 売上高推移



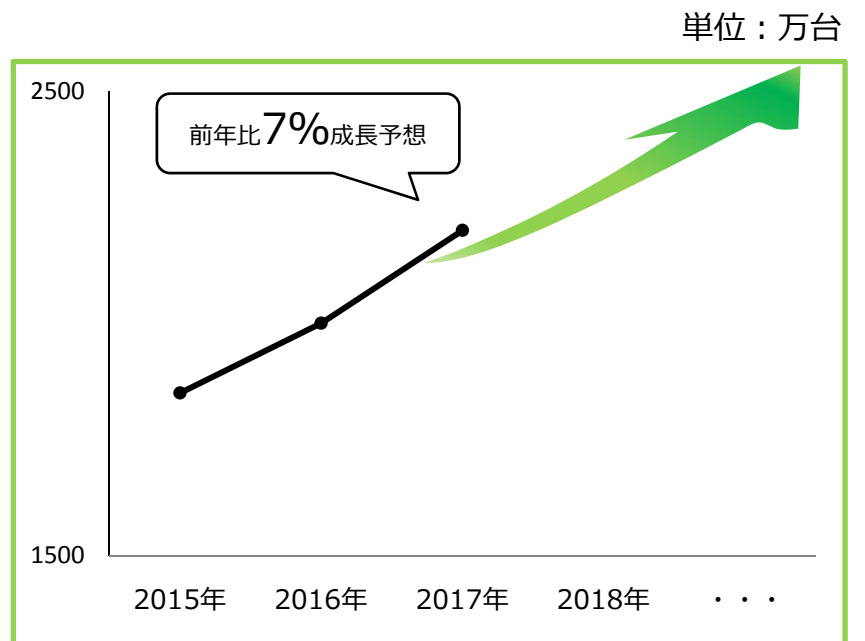
✓ 車載、産業機器に注力

市場別構成比率
(デバイス事業全体)



インド戦略

✓ 成長著しいインド二輪車市場



当社調べ

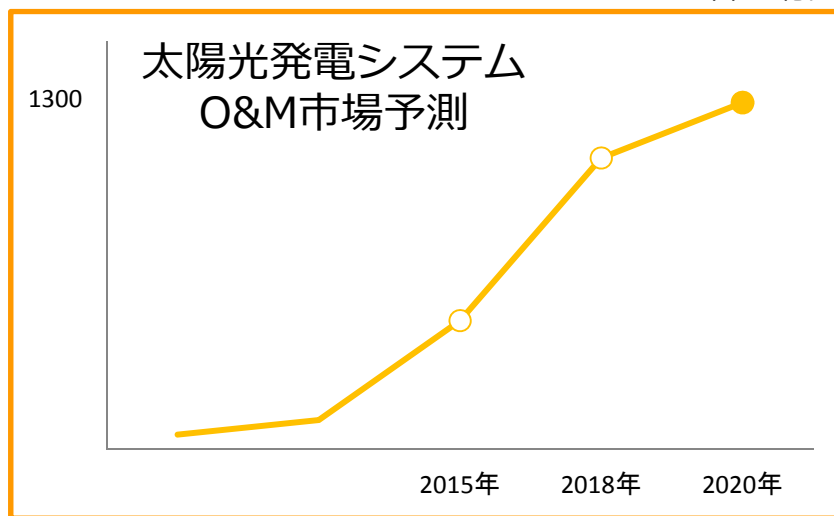
✓ アライアンスによる事業領域の拡大



O&M事業の推進

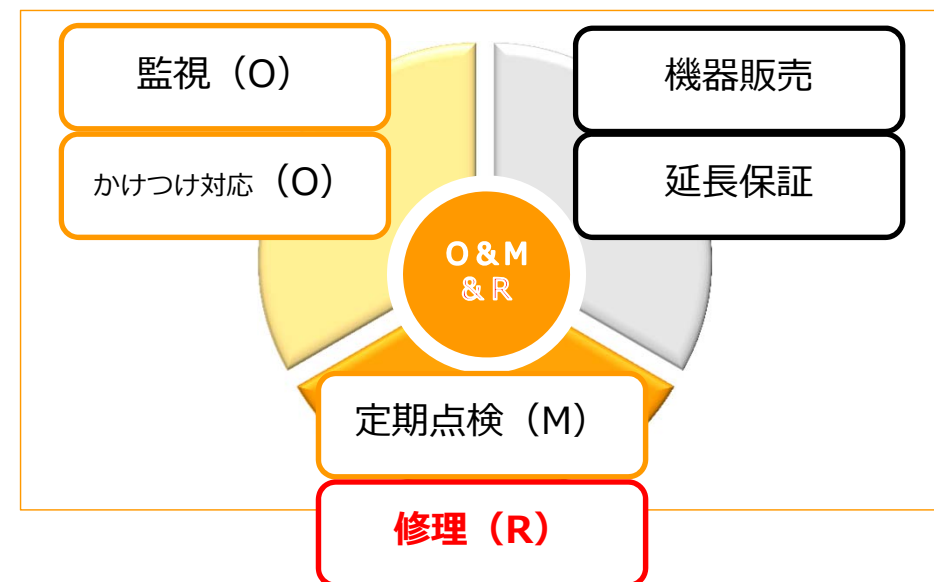
✓ 改正FIT法によりニーズ拡大

単位：億円



当社調べ

✓ O & M + Rまでをワンストップで提供



EV充電器

高出力化、海外展開

ShinDengen /
New power. Your power.

**「エネルギーの変換効率を
極限まで追求することにより、
人類と社会に貢献します。」**

本資料に記載した将来に関する見通しは、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。
従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより記載の見通しとはことなる結果をなす可能性があります。